

## 主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

### メッセージ 5

命の中で、罪、死、この世的であることから救われる

聖書：ローマ5:10. 8:2, 6. 6:18-19, 22. 詩歌628, 435番

- I. ローマ書のかぎとなる節は第5章10節です。「わたしたちが敵であった時に、神の御子の死を通して神に和解させられたからには、和解させられている今、さらにいっそう彼の命の中で救われる」:
- A. ローマ書に啓示されている神の満ち満ちた救いは二つの区分から成っています。一つの区分はキリストの死によってわたしたちのために達成された贖いであり、もう一つの区分はキリストの命によってわたしたちに生じる救うことです。
  - B. この書の最初の四つの章はキリストの死によって達成された贖いに関して包括的に論じているのに対して、後半の十二の章はキリストの命によって生じる救うことに関して詳細に述べています。
  - C. 贖い、義認、和解は、キリストの死によってわたしたちの外側で達成され、客観的にわたしたちを贖います。聖別、造り変え、同形化は、キリストの命の働きによってわたしたちの内側で達成され、主観的にわたしたちを救います。
- II. わたしたちは命の霊の法則によって、命の中で罪と死の法則から救われる必要があります——8:2:
- A. パウロは、三一の神が肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天を経過して、(自動的に働く原則また自発的な力として) わたしたちの霊に設置された命の霊の法則となるという啓示を受けることで偉大な発見をしました——2-3, 11, 34, 16節:
    - 1. クリスチャンは自分の意志の力によらず、彼の霊の中にある復活の命の霊の内なる法則の力によって生きるべきです。それは死に打ち勝ち、死を超越し、死によって束縛されません——7:17-20. マタイ26:41. エペソ1:19-23. コロサイ1:28-29. IIコリント1:8-9. ヨハネ11:25. ヘブル7:16. 使徒2:24. 啓1:18.
    - 2. 罪と死がわたしたちの中の法則であり、わたしたちの意志が決してこの法則に打ち勝たないことを見たことがないなら、わたしたちはローマ書第7章の中に閉じ込められており、ローマ書第8章に達することはありません。
    - 3. あらゆる命は法則を持っており、法則でさえあります。神の命は最高の命であり、命の霊の法則は最高の法則です——箴30:19前半. 申32:11-12. イザヤ40:30-31.
    - 4. 神聖な誕生はわたしたちを新しい領域の中へ、すなわち、わたしたちの霊の中にある神聖な命とその法則を伴う領域、罪も、この世も、肉もない領域の中へと移しました:
      - a. この領域において、わたしたち自身の意志ではなく、命の霊の法則がわたしたちを保持しているので、すべての勝利は無意識で努力を必要としません。
      - b. わたしたちは、わたしたちの霊に内住する命の霊の法則を、神の臨在として、神の語りかけとして、神との出会いとして、神の分与として持っています——

ヘブル8:10. ローマ3:25. 出25:22。

5. わたしたちは、わたしたちの霊を活用して、この法則に「スイッチオン」することによって、設置され、内側で活動する命の霊の法則と協力することができます。わたしたちの霊の「スイッチ」なしに、わたしたちの中の天的な電気である手順を経た三一の神を適用する道はありません。しかし、主を賛美します。わたしたちはスイッチを持っており、またそれがどこにあるか知っています——箴20:27. ゼカリヤ12:1. ピリピ2:12-13. ローマ8:2, 4-6, 13-16, 23. 5:10, 17. I テモテ4:7. II テモテ4:22。
6. わたしたちの霊の中にある流れる霊の神聖で奥義的な電流にスイッチオンする最良の方法は、主イエスの御名を呼び求めて、彼を愛すると告げ、彼の抱擁を享受して、彼にしがみつくことです——I コリント12:3後半. ローマ10:12-13. 詩18:1. 91:14-15. 116:1. II コリント11:2-3. ハバクク1:1. ピリピ3:12。
7. わたしたちの霊を活用することを通して、その霊と接触するとき、無数の計り知れない豊富な面を持つキリストを享受します——エペソ3:8:
  - a. 「霊の中で解放され、自分を義とすることを離れます。自分を意識し、自分を責めることを離れ、もはや自分を気にしません」。
  - b. 「霊の中で解放され、自分の意志から離れます。自己愛、自己の高ぶり、自己に栄光を帰すことはみな抑圧されます」。
  - c. 「霊を訓練し、活用すべきであり、主の勝利を適用します。罪を洗う尊い血により、また主の大能の御名によります」。
  - d. 「霊を訓練し、活用すべきであり、このように主に触れます。霊をもって主の言葉に触れ、主の豊富を満喫します」。
  - e. 「霊を用いることを通してのみ、キリストは証しされます。霊を用いることを通してのみ、人は供給を得ます」。
  - f. 「霊を訓練し、活用すべきであり、これがわたしの必要です。霊を訓練し、活用すべきであり、主はこのように導かれます」。(全訳詩歌628番、5節から10節)
- B. パウロは主に対する彼の初めの愛から、彼の霊の中で神に仕えることによって、命の霊の法則にスイッチオンした人でした——ローマ1:9. 5:5. 8:35-39. 啓2:4:
  1. 初めの愛を持って主を愛することは、あらゆることで、あらゆる事柄で彼に第一位を与え、わたしたちの生涯において彼をあらゆるものと見なすことです——コロサイ1:18後半, 10。
  2. 神がわたしたちの中へ来て、わたしたちから出て行くとき、すなわち、わたしたちが彼に仕えるとき、わたしたちは諸召会の中でキリストと共に働きます。召会の中で、わたしたちは初めの愛を彼に与えます——雅7:12. II コリント6:1前半. ピリピ3:3. マルコ12:30。
  3. わたしたちが初めの愛をもって主を愛するとき、初めのわざを行ないませんが、それは初めの愛から生じ、初めの愛を表現します。初めの愛によって動機づけられたわざだけが金、銀、宝石です——啓2:4-5. I コリント3:12. 15:10, 58。
  4. キリストの愛情はわたしたちに押し迫り、わたしたちを彼に生きさせ、彼に死な

せませす——Ⅱコリント5:14-15、ローマ14:7-9。

C. 「肉に付けた思いは死ですが、霊に付けた思いは命と平安です」——8:6 :

1. 「肉の中で、特に力を用いなくても、わたしはすぐにアダムの腐敗した形を現し出すことができます。その霊の中で、もっぱら志を立てなくても、わたしはキリストの栄光の姿を生かし出すことができます」。
2. 「ただその霊に付くことが、神の救いの方法です。ただその霊に付きます。これ以外に救いはありません。ただその霊に付けば、情欲に打ち勝つことができ、ただその霊に付けば、罪の法則から離れることができます」。
3. 「ただその霊に付けば、十字架の経験を持ち、ただその霊に付けば、復活の力を得ます。ただその霊に付けば、キリストを生かし出すことができ、ただその霊に付けば、必ず命を円熟させます」。
4. 「その霊において、キリストは命であり、その霊において、命は大能を持ちます。その霊において、聖とされることが経験となり、その霊において、経験は実際となることができます」。(全訳詩歌435番、3節、5節から7節)

Ⅲ. わたしたちは命の中で、この世的であることから救われます :

- A. 人が墮落した時、その人全体が完全にこの世の要素に浸し込まれてしまいます。こういうわけで、わたしたちは自分の肢体を奴隷として義にささげることによって、内住の聖別する霊と協力する必要があります。それは、わたしたちを聖別の中へともたらしめます。わたしたちはキリストが浸透することによって、わたしたちの内側の各部分において自然に聖とされます——ローマ6:18-19, 22。
- B. カインは神の臨在を離れた後 (創4:16)、自分を保護し、自力で生きていくために町を建設しました。この町の内側に、彼は神のない、この世的な文化を造りました (17節) :
  1. 園において、神は人にとってすべて (人の保護、生計、供給、娯楽) でした。人が神を失った時、人はすべてを失いました。
  2. 人が神を失ったことは、人にこの世的な人の文化を發明せざるを得なくしました。その主要な要素が、生きていくための町であり、生計を得るために家畜を飼うことであり、娯楽のための音楽であり、身を守るための武器でした——20-22節。
  3. この世の生活の性質と意義と結果についての啓示と、そのような生活に対する神の態度についての啓示を得て初めて、わたしたちは本当にこの世から切り離されることが可能になります——Ⅰヨハネ2:15-17、ヤコブ4:4。
  4. 神にとって、この世的であることは罪深いこと以上に悪いことです。罪深いことは神の義に反することであり、この世的であることは神の聖に反することです。それは神の義よりも高いのです。
- C. 神は彼の定められた御旨の成就のために、人を創造して地上に住ませましたが、彼の敵であるサタンは、神の創造した人を横領するために、人の情欲、享樂、探求の中にあり、しかも衣食住や車のような生活の必要にふけることの中にある人の墮落した性質を通して、人を宗教、文化、教育、産業、商業、娯樂などを体系化することによって、この地上に神に対抗する世を形成しました :
  1. そのようなサタンの体系全体は邪悪な者の中に横たわっています (Ⅰヨハネ5:

19. 参照、エペソ6:12)。そのような世を愛さないことは、邪悪な者に打ち勝つための基礎です（参照、Iペテロ3:3-4、啓2:12-13前半,17)。世をわずかでも愛することは、邪悪な者にわたしたちを敗北させ、占領させる基礎を与えます。
2. わたしたちに神を得させないようにし、わたしたちを神に得させないようにし、わたしたちに神を流させないようにし、神の建造のために神を表現させないようにするために、わたしたちを所有し、横領するものは何でも、この世です（参照、ピリピ3:8,12、IIコリント4:7、使徒20:24、Iペテロ4:11、Iコリント10:31、3:9)。この世は、わたしたちを欺き、わたしたちを騙すためにサタンが用いる仮面です。この世は、わたしたちが生きていくために必要とする以上のものです。
- D. 分裂の大いなる要因は、この世的であることです。わたしたちがある面でこの世を愛する限り、この世的であることのその面が分裂の原因となります。信者が三一の神の中で建造されて一となるのは、聖なる言葉によってサタンの世から聖別されることを通してです——ヨハネ17:14-21、Iヨハネ2:15-17、5:19:
1. 神の生ける言葉は信者の中で働いて、この世的であるものから彼らを分離させ、この世の要素で浸し込まれた性質から彼らを救います。
2. わたしたちが絶えず御言に触れ、日ごとにその霊にわたしたちに触れていただくなら、わたしたちは聖別され、この世から神へと分離されます。わたしたちは、わたしたちの古い住まいである自分自身から出て、わたしたちの新しい住まいである三一の神の中へと移されます。
- E. 主を賛美し、主に感謝します！ キリストの中では、「この世の支配者……は……何も持たない」(何の立場も、機会も、望みも、可能性もない——ヨハネ14:30)。なぜなら、この方は、わたしたちの霊、わたしたちの再生された霊(3:6)の中にいて、罪を実行せず(Iヨハネ3:9)、世に打ち勝つ(5:4)からです。